

令和2年11月20日(金)に令和2年度第2回宮城県環境アドバイザー全体会議を開催しました。今年度実施した環境配慮事項及び河川海岸環境調査結果に加え、これまでの取組を取りまとめた「(仮称)東日本大震災宮城県河川海岸復旧・復興環境配慮記録誌」(案)について、出席いただいた12名のアドバイザーに説明・報告し、ご意見をいただきました。

## アドバイザー会議の様子



## 移植したハマナスの様子



## アドバイザーからの意見(指導・助言)とその対応方針について

- 環境配慮箇所について、今後それをどのように維持していくか。  
⇒ 順応的管理をしていくことになるかと思うが、その観点から点検等を行っていき、同時に自然環境にも配慮していければと考えている。
- 州崎海岸について、移植したハマナスが、しっかりメンテナンス、モニタリングがされているようであった。
- 今後、順応的管理やモニタリングについて復興予算が終わっていく中で、河川課をはじめとする各部署できっちりとやっていけるのか。  
⇒ 今後はこれまで実施した調査結果を宮城県レッドデータブックの編集等にいかとうまく引き継いでいくかが重要だと考えている。

## 今後について

会議にて、アドバイザーよりいただいた意見については各課室にて精査するとともに、今後の取り組みの参考となるように、「(仮称)東日本大震災宮城県河川海岸復旧・復興環境配慮記録誌」を作成し、記録として残していきます。